

 <p>町長 大橋 信夫</p>	<p>宮城県 わくやちょう</p> <h1>涌谷町</h1> <p>黄金花咲く交流の郷 わくや — 自然・歴史を活かした健康輝くまち —</p>  <p>町章</p>	<p>【データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼人口：16,728人 ▼世帯数：6,069世帯 ▼面積：82.16平方メートル ▼町の花：さくら ▼町の木：杉 ▼主な健康事業 <ul style="list-style-type: none"> ▽生薬利活用事業 ▽健康推進員活動 <p>※平成29年4月1日現在</p>
---	--	--

涌谷町では、新しい町づくりに向け「子育て支援」と「企業誘致」を中心課題として町政を進めております。健康事業では生薬利活用事業として、町民組織の「生薬まちづくりの会」と協働しペットボトル入りのハト麦茶を商品化するなど六次産業化を進めております。また、保健・医療・介護・福祉部門が有機的に統合した町民医療福祉センターを核とし、健康推進員を中心とした町民との協働により、地域包括医療・ケアシステムによる「健康寿命百歳のまち」を目指しており、特に昨年度からは東北大学高齢者高次脳医学講座との共同による認知症対策に注力しております。

◆涌谷町の紹介

涌谷町は、自然豊かで仙台平野を一望できる篔岳山が広がり、ひとめぼれ、小ねぎ、ホウレンソウなど農業の盛んな町です。

奈良時代日本で初めて金が産出し、東大寺の盧舎那仏の建立の際に、黄金900両（13kg）鍍金として献上した歴史をもっています。

砂金採り体験ができる「天平ろまん館」の他、奥州三観音の一つ篔岳観音が祭られる「篔峯寺」、日帰り温泉施設「わくや天平の湯」といった観光スポットが点在しています。青ばた豆を使ったおぼろ豆腐やシイタケを使った郷土料理「おぼろ汁」が観光客に好評です。



国指定史跡黄金山神社



無夷山篔峯寺



天平ろまん館



おぼろ汁



小ねぎ



わくや天平の湯

◆生薬利活用事業

平成24年3月に策定しました「涌谷町震災復興マスタープラン」に基づき、5年目を迎えた昨年は ①生薬まちづくりの会の育成 ②生薬の栽培、加工 ③薬膳講習の実施 ④漢方啓発講座の実施 ⑤会報、薬膳レシピ集の発行 を主体に行いました。今後は、栽培した生薬を材料とした商品開発を進めながら、住民の健康づくりを行ってまいります。



薬膳講習会



金さんのハト麦茶

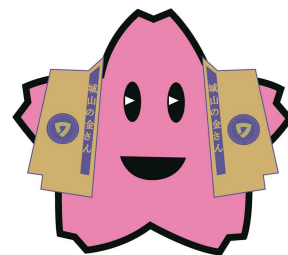
◆町民との協働による健康づくり活動 ～まちの健康づくりの担い手 健康推進員活動～

10～20世帯にひとりの割合で町内各地区で活動していただいている「健康推進員」。

町の健康課題を共有し、その解決のため、研修を受けたり、町の健康づくり事業に協力いただいたり、自分の地区での健康づくり活動の企画・運営を通して自分や家族さらに地域の健康づくりに取り組んでいます。

<特定健診受診推進キャンペーン>

日曜日の朝に行われている「朝市」会場で、生活習慣病予防対策（メタボ対策）の一環として、健康推進員が「特定健診」の受診を勧めています。朝茶を振る舞いながら、家族連れで来場している青壮年世代の方にも健診の大切さを広めています。



観光PRキャラクター

城山の金さん

◆担当部署・連絡先

〒987-0121

宮城県遠田郡涌谷町涌谷字中江南 278

涌谷町町民医療福祉センター

健康課 健康づくり班

TEL 0229-43-5111 内線 518

FAX 0229-43-5717

h-taka310@town.wakuya.miyagi.jp